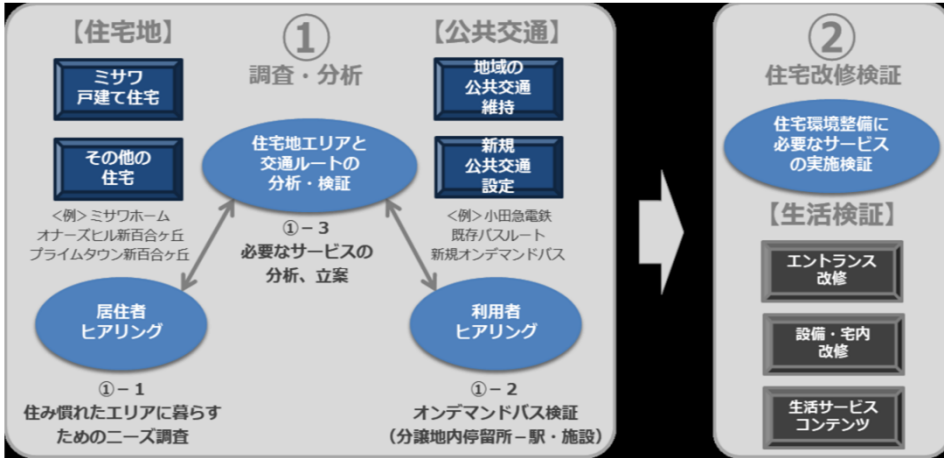


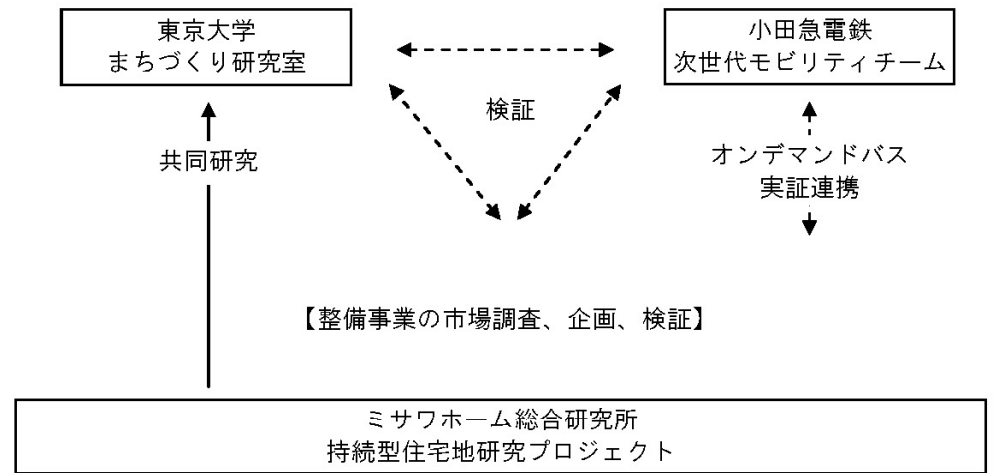
今ある住宅地に住み続けるための環境整備を「住まいと交通」の視点の両面から捉える実証実験を実施する。

- 高齢化が進行する住宅地においては、公共交通の廃止や高齢者の免許返納により、交通困難者が増加することが課題となり、この対応策としてオンデマンドバス運行の取り組みが行われ始めている。
- 本調査は、郊外住宅地の居住者に対し、住み慣れた地域におけるニーズ調査を実施すると共に、オンデマンドバス利用者に対し、行動変容状況や外出に影響を与える住宅環境に関する調査を実施し、モビリティサービスと連携した住宅における改修・サービス案を抽出することを目的としている。

調査概要図



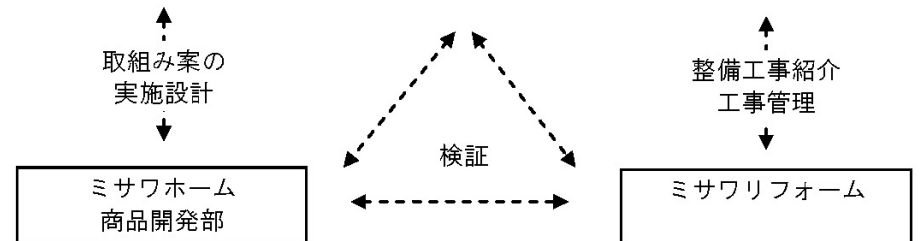
事業実施体制図



事業概要

代表提案者	株式会社ミサワホーム総合研究所
共同提案者	ミサワホーム株式会社
事業実施場所	神奈川県川崎市麻生区
事業実施内容	特定住宅地での住宅地調査、外出(来客を含む)方法を踏まえた住宅改修の提案検証、検証内容や結果レポートの情報発信
事業実施期間	令和元年12月～令和3年3月

【実施設計、施工計画・検証、運用検討】



評価委員会での評価内容

- 高齢者の住まいのみならず、モビリティサービスと住宅改修の両者の関係性を把握することに着目した試みは評価できる。
- 一方、調査を進めるにあたっては、調査内容を適切に計画し、実直で着実なデータの蓄積と理論の構築が求められる。